

2026年度事業計画の概要（小規模事業経営支援事業費補助金）

団体名： 稲武商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業計画	主たる対象者	事業評価						備考		
				目標①			目標②					
巡回・窓口相談指導事業	一般的に経営基盤の弱い小規模事業者を中心に、経営指導員等の商工会職員が事業所へ訪問し、融資等の金融相談・申告時期の税務相談・労務相談等経営全般について様々な相談に対応することにより、経営及び技術の改善を図り、健全な企業を育成するとともに、創業予定者を始めとした経営全般に係る相談窓口の設置により、経営改善に資する指導を行う。	巡回指導日数 月間 12日（3日×4週）、年間144日（12日×12月） 巡回実企業数 106事業所（地区内小規模事業所数） 巡回指導延件数 380件（各小規模事業者3回程度の訪問） 窓口指導延件数 120件（月10件の窓口指導） 課題解決提案件数 10件 経営革新承認件数 1件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数			指標	課題解決提案件数			○
				目標数値	500	実績数値		目標数値	10	実績数値		
記帳継続指導	個人事業主に対し、正しい記帳方法や、決算・確定申告の指導をすることによって、正しい税務申告と、記帳に対する個々の意識を高めることにより、試算表の数字等から経営状態の把握と経営改善を図る。	記帳の仕方や試算表の見方、定期的な帳簿の確認 2人、指導事業所数44件 指導日数 330日 指導回数 500回	小規模事業者	指標	記帳指導事業所数			指標				
				目標数値	44	実績数値		目標数値		実績数値		
講習会事業	多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって必要な金融・税務・経理・労働・情報化等の知識習得や時事的な問題についての理解促進を図り、事業者の資質の向上と円滑な事業運営に資することを目的とする。	講習会開催回数及び受講者数 （集団）5回 120人 （内、経営革新（支部共催） 1回、3人） （個別）11回 85人 計 16回 205人	小規模事業者	指標	講習会受講者数			指標				○
				目標数値	205	実績数値		目標数値		実績数値		
若手後継者等育成事業	商工業の後継者である青年、若手経営者及び商工業に携わる女性に対し、青年部、女性部が主体となって各種セミナーを開催し、経営に必要な知識・技術の習得や資質の向上を図る。また、全国のリーダーが一堂に会する全国大会に参加することで地域のリーダーとしての意識を高め新たな発見を促す。	青年部主催：事業承継セミナー 2回 全国大会参加 女性部主催：資質向上セミナー 1回 全国大会参加 参加者対象アンケートで「満足」と答えた割合80%	小規模事業者	指標	参加者対象アンケートで満足 と答えた割合			指標	講習会・研修会受講者数			
				目標数値	80	実績数値		目標数値	35	実績数値		
祭典事業	各種のお祭り・祭典などを開催することにより、その集客力を生かして地域の経済活動を促進し地域産業、地域資源及び観光資源のPRの機会とするとともに、地域の総合的な振興を図ることを目的とする。	「マイタウンおいでん稲武」（6月27日）の開催 出店等参画事業所数 6事業所 「稲武まつり」（8月15日）へ協賛 出店等参画事業所数 6事業所 「ふれあいまつり」（10月25日）への協賛 出店等参画事業所数 10事業所 「雪見街道いなぶ」（2月6日）への協賛 出店等参画事業所数 8事業所計30事業所	小規模事業者	指標	出店等参画事業所数			指標				○
				目標数値	30	実績数値		目標数値		実績数値		
商店街・街づくり事業	消費者の生活形態の変化、郊外型大型店等への購買力流出など、地元中小商業者が抱える様々な経営課題解決に向け、地域活性化、集客力向上につながる魅力あるイベント事業の実施等、地元商業者の活性化を通して地域振興、街づくりに寄与することを目的とする。	平成30年度からの商店街活性化計画をもとに、 ・宅配事業を中心としたソーシャルビジネス「いなぶのお買物配達便」の実施 稲武地区の高齢者世帯の2割（75件）の利用登録世帯を目指す ・街並みの灯り事業（キャンドルナイト）（12月） イルミネーションの飾付けとキャンドルを使った年末イベントを実施 街路灯・シンボル塔の維持管理等の事業を実施 宅配事業等活性化計画関連事業へ18店の参画を目指す	小規模事業者	指標	商店街活性化計画への参画事業所数			指標				○
				目標数値	18	実績数値		目標数値		実績数値		

事業名	事業概要（背景・目的）	事業計画	主たる対象者	事業評価						備考		
				目標①			目標②					
産業活性化事業	それぞれの地域の特性を生かした地域資源の活用や、特産品の開発・普及・PRなどを行い、また、地産地消の推進などを行うことにより、事業者の発展及び地域産業の活性化に資することを目的とする。	ふるさとふれあいウォーキング「歩かまい稲武」の開催（5月17日） 稲武産ギフト「中馬街道物語」と「どこでもいなぶ」作成事業の推進 稲武産商品を詰込んだギフト商品を開発し、稲武出身者や豊田市内の事業者の利用を促す。 道の駅どんぐり内のチャレンジショップを活用し、事業所や新商品のPRを行う 展示会へ積極的に参加（とよたの特産品展（10月）、IKO→MaI（1月）） 道の駅どんぐりイベント広場にて、どんぐり朝市開催（3月～11月9回開催）45店舗　その他、関連事業の展開 これらの事業を通じて、新たな特産品の開発を目指す 新たな特産品開発数　3品目	小規模事業者	指標	稲武産ギフト利用者数			指標				○
				目標数値	100	実績数値		目標数値		実績数値		
青年部・女性部事業	青年部・女性部員間での交流や社会福祉活動等を通じて地域との関わりを深めることにより、地域社会の発展に寄与することを目的とする。	地区内各種イベントへの参加及び協賛 ふるさとふれあいウォーキング（5月）、マイタウンおいでん（6月）、稲武まつり（8月）、ラリー（11月） 地区ゴルフ大会主催（11月下旬） 花いっぱい事業へ参画（花の植替え作業）（年2回） 県青連・県女連豊田支部事業への参加（青年部・女性部　各3回） 商工会議所青年部との交流会へ参加（青年部　1回） これら事業を通して44名の部員の確保を目指す	小規模事業者	指標	青年部・女性部員数			指標				
				目標数値	44	実績数値		目標数値		実績数値		
福利厚生事業	中小企業、小規模企業の経営・雇用の持続的な安定を図るために、各種共済制度の普及や従業員の健康診断事業の実施等、企業の健全な育成に資することを目的とする。	・各種共済の普及推進（R8年度末目標） 特定退職金共済（70件）、中小企業共済（300件）、愛知火災共済（60件）、商工災害生命共済（19件） 計　449件 ・事業所健康診断の実施 33事業所280人	小規模事業者	指標	共済加入件数（総数）			指標				
				目標数値	449	実績数値		目標数値		実績数値		
労働保険事業	事業主等の委託を受けて、事業主に代わって労働保険料の申告納付その他労働保険に関する各種の届出等の事務手続を行うことにより、中小事業主の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図ることを目的とする。	・労働保険料の年度更新及び従業員の資格取得喪失等の手続を代行 32事業所 ・未加入事業所に加入勧奨 1事業所	小規模事業者	指標	委託事業所数			指標				
				目標数値	33	実績数値		目標数値		実績数値		
青色申告会・法人会	青色申告会・法人会等の税務支援団体・地域貢献団体の活動を支援し、事業運営に協力することにより、国、地方公共団体、地域社会への貢献や発展のための一助となり、ひいては、地域商工業の活性化に資することを目的とする。	○研修会（法人会）・4月「経営セミナー」・8月視察研修 ・11月税務研修 （青色申告会）・8月「夏期研修会」 ○地域貢献活動（法人会） ・8月「稲武まつり協賛」 これら事業を通して75名の会員の確保を目指す	小規模事業者	指標	法人会・青色申告会会員数			指標				
				目標数値	75	実績数値		目標数値		実績数値		

事業名	事業概要（背景・目的）	事業計画	主たる対象者	事業評価						備考	
				目標①			目標②				
産業団体	稲武カード会や各種団体等、産業振興・地域貢献団体の活動を支援し、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展のための一助となり、ひいては商工業の活性化に資することを目的とする。	(指導団体) ・稲武カード会 （8月・12月の売出し、抽選会2回 他イベント実施） ・食品衛生協会豊田支部稲武分会 （食品衛生講習会(6月)、検便2回、施設検査2回 他事業実施） ・愛知県建設組合連合北設楽支部稲武分会 （木工教室 他事業実施） ・稲武木材組合 各団体の指導を通して、各小規模事業者の育成・発展を図る 各団体合計で70名の構成員の確保を目指す	小規模事業者	指標	構成員数(指導団体計)			指標			
				目標 数値	70	実績 数値		目標 数値		実績 数値	
調査・広報事業	当地区内の景気状況や需要動向を把握し、以後の施策や指導に役立てるとともに、回収したデータを分析・公表するとともに必要な諸施策を検討し、効果的かつ効率的な指導につなげることを目的とする。	・会員企業140社を対象に、業種、景況感、経営課題等の調査を実施し、地域経済動向調査を作成する。 地域経済動向調査実施企業数(有効回答数) 100社 ・愛知学院大学協田ゼミ学生による、事業主への聞き取り調査の実施 ・金山駅IKO→Mai出店時に需要動向調査を実施 ・地域経済動向調査及び需要動向調査を小規模事業者に提供する。	小規模事業者	指標	地域経済動向調査実施企業数			指標			
				目標 数値	100	実績 数値		目標 数値		実績 数値	
経営・技術強化支援事業	講習会や専門家派遣の伴走型支援を通じ、事業者の生産性向上・省力化投資や価格転嫁等を通じて買上げ環境の整備につなげることを目的とする。	・講習会開催回数及び受講予定者数 （集団）1回 20人 ・専門家派遣 5回	小規模事業者	指標	講習会受講者数			指標	専門家派遣回数		
				目標 数値	20	実績 数値		目標 数値	5	実績 数値	

※記載内容についての資料は、各団体において整備しています。

※備考欄の○は経営発達支援事業として認定を受けた事業です。